

(様式1) ※A3判(1枚)に収める。実践充実プランの内容と年間推進計画書との整合性に留意して記載すること。

「道徳教育推進拠点校事業」実践充実プラン 中土佐町立久礼中学校		校長	堅田 謙洋	教員数	15	児童生徒数 学級数	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		合計		
		道徳教育推進教師	佐竹 俊春				児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数
研究テーマ		考え、議論する道徳授業の実践研究と評価の研究を通して、生徒一人一人の深い学びを目指し、生徒の道徳性の向上を目指す道徳教育の推進																			
年度当初の学校の状況		到達目標					中間検証(下半期に向けての改善事項)										年度末(到達目標達成状況)				
<p>本拠点校事業は今年が最終年度となるが、それ以前から道徳に関わる研究指定を受け、学校を挙げて取組を推進してきており、教員の道徳に関する意欲や授業力は年々高まってきているように感じる。また、語彙力や表現力が低位な状態のままであった生徒たちも大きく変容し、道徳に対する興味や関心、対話力・表現力も高まってきている。特に自尊感情や規範意識が向上傾向にあることは一つの成果であると考えている。</p> <p>拠点校事業の最終年度となった今年度は、教員の道徳授業力や子どもたちが深く考えること、さらなる自尊感情の向上を目指したい。また、「考え、議論する道徳」の授業が定着できるように研究を深めていきたい。</p>		<p>1. 道徳意識調査に関わって</p> <p>①「道徳の勉強が好きだ。」の肯定的回答90%以上を目指す。</p> <p>②「自分にはよいところがある」の肯定的回答85%以上を目指す。</p> <p>③「将来の夢や希望を持っている」の肯定的回答85%以上を目指す。</p> <p>④「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」の肯定的回答85%以上を目指す。</p> <p>2. 道徳授業チェックシート(生徒用)について</p> <p>①「友だちと考えを話し合い、聞き合える授業だった」の肯定的回答95%以上を目指す。</p>																			
到達目標達成のための取組		取組計画 ※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)										指標達成状況の分析									
取組項目	取組の評価指標	5月～8月					中間評価	9月～2月(中間検証を踏まえての追記・変更可)					達成状況	年度末評価							
道徳科の趣旨を踏まえた指導計画の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆道徳教育推進教師が各学年の進捗状況を確認する。(毎月1回、各学年単位) ◆管理職、道徳推進教師が全学年を毎時間参観する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①道徳教育の全体計画の見直し・作成(各学年の別業)。 ②道徳意識調査の結果の検証・共有・改善(4月)。 ③事前研、事後研を計画的に行ない、授業の質の向上を目指す。 ④他校の授業づくり講座等へ参加し、校内での共有を行う。 ⑤道徳意識調査の結果を生徒支援の面にも生かす。 						<ul style="list-style-type: none"> ①道徳教育の全体計画の進捗状況を検証する。 ②道徳意識調査の結果の検証後の改善策を検証する。 ③事前研、事後研を計画的に行ない、授業の質の向上を目指す。 ④他校の授業づくり講座等へ参加し、校内での共有を行う。 ⑤道徳意識調査の結果を生徒支援の面にも生かす。 													
道徳科の趣旨を踏まえた「考え、議論する道徳」の授業研究	<ul style="list-style-type: none"> ◆授業日の前日に事前研を実施し、内容項目・指導方法等についての意見交流や打ち合わせを行っている。 ◆管理職の参観シート、推進教師の授業メモをもとに事後研を定期的に行っている。 ◆毎月公開授業を計画し、生徒用授業チェックシートと教師用授業チェックシートの分析が行われている。(月1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ①毎月公開授業を計画し、教師用、生徒用両方の授業チェックシートへの記入を行い、教員の意識と生徒の意識の差を検証する。 ②授業者と学年団、道徳教育推進教師で事前研、事後研を開催し、PDCAサイクルを活用し、授業の質を高める。 ③教具の作成・活用、指導略案、板書写真の整理・保管をする。 						<ul style="list-style-type: none"> ①毎月公開授業を計画し、教師用、生徒用両方の授業チェックシートへの記入を行い、教員の意識と生徒の意識の差を検証する。 ②授業者と学年団、道徳教育推進教師で事前研、事後研を開催し、PDCAサイクルを活用し、授業の質を高める。 ③教具の作成・活用、指導略案、板書写真の整理・保管をする。 ④本校で実施する「授業づくり講座(道徳)」に、可能な限り全教員が参加して学び合う。 													
道徳科の趣旨を踏まえた評価の研究	<ul style="list-style-type: none"> ◆道徳ノートや、学年団での座席表、推進教師の授業メモを踏まえて、通知表での記述の文言について検証している。(8月) ◆久礼シンボルツリー(生徒個人の肯定的評価カードの貼付)の活用度をチェックし(月1回)、教員の生徒への肯定的評価の習慣づけが行われている。 ◆学期末に通知表への記載について、学年団での共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ①道徳ノート、授業メモ、座席表を活用し、学習状況や道徳性に係る生徒の成長の様子等を把握し、学年団と道徳教育推進教師で共有を図る。 ②道徳推進教師が毎時間の生徒の発言を記録し、授業後担任に配付することで評価の材料とする。 ③シンボルツリーへの記載を毎週1枚は全教員が記入できるように取り組んでいく。 						<ul style="list-style-type: none"> ①道徳ノート、授業メモ、座席表を活用し、学習状況や道徳性に係る生徒の成長の様子等を把握し、学年団と道徳教育推進教師で共有を図る。 ②道徳推進教師が毎時間の生徒の発言を記録し、授業後担任に配付することで評価の材料とする。 ③シンボルツリーへの記載を毎週1枚は全教員が記入できるように取り組んだ結果を検証し、改善策を実施する。 													
家庭・地域と連携した道徳教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆全学年での道徳参観日(2学期に実施予定)を設け、親子で考える機会を充実させている。(保護者参加率50%以上) ◆道徳だよりを発行し、家庭と生徒の関りの機会や保護者の道徳への関心度を高めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①道徳参観日を計画し、保護者参加型の授業を推進し、生徒の深い学び、新たな気づきにつなげていく。 ②道徳だよりを発行し、学校での授業の取り組みを保護者に発信し、共有の機会とする。 						<ul style="list-style-type: none"> ①道徳だよりを発行し、学校での授業の取り組みを保護者に発信し、共有の機会とする。 ②道徳だよりに対する返信を検証し、学校や家庭での道徳のあり方を検証し、改善を行う。 													